

みんなであつたか!

ウォームシェア 8カ条 街編

ただ寒いのを我慢するのではなく、楽しみながら続けられる活動で冬をあたたかく、地球にやさしく過ごしましょう!



ポイント1

飲食店 でウォームシェア

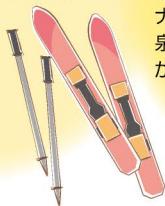
お家の暖房器具はオフにしておかけ。温かい食事や飲み物であたたまりましょう。



ポイント2

スポーツ でウォームシェア

友人同士でスポーツを楽しみながら、体の内側からあたたまりましょう。寒い時期ならではのウインタースポーツや、スポーツ観戦なら、季節を感じる事ができ、より一層盛り上がりそう。



ポイント3

温泉や浴場 でウォームシェア

健康や美容にもうれしい効果がたくさんのお風呂で、ゆったりとあたたまりましょう。休日なら、ジェットバスやサウナの楽しめる温泉施設へのおでかけも◎



ポイント4

公共施設 でウォームシェア

図書館や児童館、公民館、レクリエーション施設などの、無料または低価格で過ごせる公共施設であたたかく過ごしましょう。



暖房消して あたたかいところ集まろう



芸術 でウォームシェア

美術館や博物館などの芸術施設や、コンサートに足を運んでみましょう。普段の生活では触れない芸術に触れ、心からあたたかくなれそうです。



ポイント5

ポイント6

旅行 でウォームシェア

お家を離れて、旅に出るのもウォームシェアの1つ。その土地ならではの食事や、人との出会いでリフレッシュしながらあたたまりましょう。



ポイント7

イベント でウォームシェア

地域のイベントやシンポジウムに参加して、あたたまりながら知的好奇心を刺激しましょう。



ポイント8

ショッピング でウォームシェア

ショッピングモールならあたたかく様々な買い物を楽しめます。エコなあつたかグッズを探してみましょう!



ほっこり楽しい冬に

エコにあたたかく!

ウォームビズについて改めて学んで、地球のためにやさしく、そして楽しい冬のひとときを過ごしましょう。

エアコンやファンヒーター、こたつなど、部屋の中をあたたかくしてくれる暖房器具。寒い季節を快適に過ごすために欠かせないものですが、限りあるエネルギーを消費し、深刻化する地球温暖化の原因の1つになるCO₂を排出する側という面もあります。エコが浸透した今、しっかりとこの一面にも目を向けていきたいと思います。

暖房器具の使用頻度を減らすことは、地球環境を守る取り組みの1つですが、冷え込む季節の無理な節電は禁物。寒い部屋の中の生活は、体の冷えや風邪などの原因になりかねません。適度に部屋の中をあたたためて、暖房器具の使用頻度を少しずつ減らしたり、設定温度を変えたりすることで、地球にも人にもやさしく過ごしましょう。

近年、環境省が推進する「ウォームビズ」では、無理のないエコへの取り組みを紹介しています。よく耳にするウォームビズとはどのようなものなのか、改めて学んで生活に取り入れてみませんか?

WARM BIZ +ONE

詳しくは、[Webページをチェック!](http://funtoshare.env.go.jp/warmbiz/index.html)

<http://funtoshare.env.go.jp/warmbiz/index.html>

ウォームビズ期間
11月1日~3月31日

平成17年度から環境省を中心に取り組まれている「WARM BIZ (ウォームビズ)」。暖房に使うCO₂排出量の増加を抑えるために暖房の設定温度を20℃にすることを呼びかけ、その室温でも快適に過ごせるライフスタイルを提案しています。

昨年度からは、このウォームビズの取り組みをワンストップ先へと前進させた、「WARM BIZ +ONE(ウォームビズ・プラス・ワン)」というテーマを掲げています。ただエコのために「させられている」のではなく、誰かと共有する楽しさや嬉しさをプラスすることで、前向きに取り組めるようなアイデア・アイデア・アクションが紹介されています。

設定温度は20℃で快適に過ごす「ウォームビズ」

「お家でできる!」ウォームシェア

- 家族でリビングに集まってお鍋
- 友達同士で集まってホームパーティー
- ご近所さんと集まってお茶会

NEXT ウォームシェアについてもっと詳しくチェック!!

環境省では「ウォームビズ」への取り組みの1つとして、「WARM SHARE(ウォームシェア)」を呼びかけています。例えば、家族1人ひとりが別の部屋で暖房器具を使うのではなく、リビングなどの1つの部屋に集まって暖をとったり、あたたかい場所や施設へ出かけるとしてエネルギーの節約を促すという取り組みです。みんなで集まると過ごせば、あたたかさをシェアできるだけでなく、「コミュニティ」の機会も増え、地域の活性化にもつながります。

あたたかさを共有する「ウォームシェア」